

初動対応について
整備していますか？

緊急時対応体制を
定めていますか？

あなたの会社、 生き残れますか？

災害リスクについて
認識していますか？

復旧対応について検討、
準備していますか？

今年から始まる
中小企業支援策に
ついて解説も！

BCP 講習会

2019年11月11日 月

受講料は無料

(但し、一部資料代3,000円)

企業の経営者・管理者などに、
BCP見直しのポイントについて御理解
いただくとともに、ディスカッションを通じて
各課題解決を検討していただくことで、
BCP改善の推進を図ります。

BCPを見直して 取引先・顧客からの信頼を高める！



主催/あいち・なごや強靱化共創センター

共催/愛知県、名古屋市、名古屋大学、名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会

協力/あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

募集要項

日程

2019年11月11日(月)10:25～17:00

第一部(午前)、第二部(午後)のみのご参加も、両方(全日)のご参加も可能です。

会場

名古屋大学減災館 1階 減災ホール(名古屋市千種区不老町)

対象者

BCP策定中・策定済みの企業の経営者及び防災・BCP担当部門の方など

定員

定員60名(事前申込制・先着順)

参加費

受講料は無料、一部資料代3,000円

申込方法

(1) Web上の所定のページ(① <https://www.kyoso-seminar.com>)より入力画面に進んでお申し込みいただくか、別頁の参加申込書に御記入の上、FAX(052-908-3940)でお申し込みください。なお、参加決定通知は行いません。定員を超過した場合は、御参加いただけない方へ御連絡します。

(2) 参加申込後1週間以内に、別頁事前アンケートを以下のWeb上のページからダウンロードし、各項目を御記入の上、Eメールでお送りください。

【URL】 ① <https://www.kyoso-seminar.com>

② <http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html>

【Eメール】 info@kyoso-seminar.com

(3) お申込受付後、資料代振込先を御連絡します。指定された支払期限までに、資料代をお支払いください。
※本講習会の受付及び資料代徴収は、ニッコアイエム株式会社に委託して行っております。



講習会の中止

以下のいずれかに該当する場合は、講習会を中止します。中止の場合は、あいち・なごや強靱化共創センターWebページ(<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso>)でお知らせします。

(1) 県内の一部又は全域に大雨、洪水、暴風、高潮における警報又は大雨、暴風、高潮、波浪における特別警報、「伊勢・三河湾」又は「愛知県外海」における津波警報又は特別警報(大津波警報)のいずれかが発表され、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合

(2) 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合

(3) 県内で震度5弱以上、又は名古屋市で震度4以上の地震が発生し、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合



○名古屋市営地下鉄名城線
「名古屋大学」駅下車 徒歩約5分

※駐車場がありませんので、会場へは公共交通機関をご利用ください。

カリキュラムのご案内

構成	時間	内容		講師等
第一部	10:25 ～10:30	開講	挨拶	
	10:30 ～11:00	中小企業強靱化施策の概要	・中小企業支援施策について解説	中部経済産業局中小企業課
	11:05 ～12:00	工場等の耐震化事例紹介	・BCPを支える施設強靱化のための耐震化対策について説明	名古屋大学減災連携研究センター 研究員
第二部	13:00 ～13:50	BCP概論	・BCPに関して、昨今の企業情報や様々な訓練手法について解説	MS&AD インターリスク 総研(株) あいおいニッセイ 同和損害 保険(株)
	14:00 ～16:55	BCP見直しのポイント説明	・事前アンケート項目毎に見直しのポイント説明 ・事前アンケート結果の説明 ・ディスカッションテーマの提示	
		ディスカッション	・提示したテーマについて議論(課題への対処策、各参加者の取組状況や成功事例の共有)	
		各種質問	・各ディスカッショングループで議論された内容を全体に共有(発表) ・各種質問の受け付け	
16:55 ～17:00	閉講	アンケート記入		



その他の支援策

あいち・なごや強靱化共創センターでは、当講習会の他、以下の支援策を実施しています。講習会と併せて、ぜひご活用ください。

企業防災・BCP策定に関する支援策一覧

以下ウェブサイトにて、企業のBCP策定や災害発生時のボトルネック対策を促進するため、企業防災・BCP策定に関する支援策の一覧を掲載しています。



<http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/bcp-index.html>

BCP個別相談窓口

自社BCPの改善を希望する企業に対して要改善点について、改善のポイントや改善例を提示する相談窓口を設置しています。



http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/consultation.html#BCP_consul

BCPを支える施設強靱化個別相談窓口

企業の耐震化対策等を促進するため、工場等の耐震化対策を始め自然災害対策に関して個別に対応する相談窓口を設置しています。



http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/consultation.html#facility_resilience

あいち・なごや強靱化共創センター

愛知県、名古屋市、名古屋大学が、産業界と共に、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、2017年6月に設立。



あいち・なごや
強靱化共創センター

AICHI · NAGOYA RESILIENCE CO-CREATION CENTER

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 減災館 402号室

TEL:052-747-6979 FAX:052-789-2975

Mail:kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp Url:<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/>

BCP講習会参加申込書(FAX用)

FAX:052-908-3940

※ Webページからの申込みが確実です

申込構成部	第一部、第二部とも(全日) ・ 第一部(午前) ・ 第二部(午後)		
ふりがな	-----		
企業・団体名			
業 種		従業員数	名
所在地	〒 -		
電話番号	() -		
FAX番号	() -		
E-mailアドレス			
今後の講習会等のご案内	希望する ・ 希望しない		

○参加者

ふりがな	-----		
氏 名			
部 署		役 職	
携帯電話番号	() -		

裏面の事前アンケートをダウンロードし、申込後1週間以内にEメールでお送りください。

※参加申込書及び事前アンケートはHPからダウンロードできます。

①▶ <https://www.kyoso-seminar.com>

②▶ <http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html>

※複数名参加される場合はお手数ですが、本紙をコピーしてお使いください。

※申込みいただいた個人情報は責任を持って管理し、目的外の使用は致しません。



お問い合わせ先

[受講申込について] ニッコアイエム株式会社
電 話:052-908-3939 FAX:052-908-3940
メー ル:info@kyoso-seminar.com

[講習内容について] あいち・なごや強靱化共創センター
電 話:052-747-6979 FAX:052-789-2975
メー ル:kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp

BCPアンケート

このアンケートは見本です。HPよりデータをダウンロードして、参加申込後1週間以内に、Eメールでお送りください。

テーマ	小項目	連番	チェック項目	はい	いいえ	左記項目についての貴社の課題意識、不足している点など (自由記述)
1 リスクの認識	■災害リスクの把握	1	自社の主要拠点で想定される地震の特性(震度、液状化、津波など)や発生確率などを把握している。また、浸水ハザードマップを確認するなど、水害、土砂災害の危険性を把握している			
	■被害想定	2	災害が発生した場合の、自社の人的被害・物的被害およびユーティリティ(電気・水・ガス・通信)被害を把握している			
	■建物状況の把握	3	建築年月や構造、建物所在地などから自社建物の損壊リスクを把握している			
	■設備の耐震化	4	社内の設備やシステム機器に対して耐震固定などの被害軽減策を実施している			
2 緊急時対応体制	■緊急時の対応組織	5	災害対策本部など、緊急時に対応する組織を整備し、組織設置基準を定めている			
	■役割	6	緊急時対応組織のメンバーや役割分担、指揮命令系統が定められている			
	■代行者	7	重要な役割を担う者が負傷したり連絡がつかなくなったりする場合に備え、権限移譲や、代行者もしくは代行順位が定められている			
3 初動対応	■個人の安全確保	8	従業員個人が身の安全を守るための行動手順が整理され、従業員に周知している			
	■備蓄品	9	水・食料・簡易トイレ・防寒具等の備蓄品を準備している			
	■自衛消防活動	10	災害発生直後の負傷者救出・救護の体制や資機材が整備されている			
	■避難ルール	11	避難の判断者や判断基準が定められている			
	■安否確認	12	従業員の緊急連絡先リスト(連絡網)が整備され、常に最新の状態になっている			
	■通信手段の確保	13	固定電話や携帯電話以外に、非常時を想定した通信手段を準備している			
	■情報収集	14	収集すべき被害情報の項目や収集手順が整理されている			
		15	社外の関係先(主要な取引先、設備業者、インフラ業者、行政など)について緊急時の連絡先リストが整備され、常に最新の状態になっている			
■帰宅ルール	16	従業員の安全に配慮した災害時の帰宅ルールを整備している				
4 復旧対応	■重要業務の選定	17	災害時に優先的に継続・復旧すべき「重要業務」が選定されている			
	■目標復旧時間の設定	18	重要業務ごとに目標復旧時間を設定している			
	■経営資源の洗い出し	19	重要業務の遂行に必要な不可欠な経営資源(ヒト、モノ、カネ)が特定されている			
	■復旧対策の検討	20	災害時に重要業務を継続もしくは早期に再開させるための対策(代替手段など)が検討されている			
	■資金調達	21	災害時の資金調達について準備している			
	■取引先のBCP	22	取引先のBCP策定状況を把握している			
	■非常時の協力	23	非常時に協力を得られる同業他社や関係会社がいる			
	■広報	24	災害時に自社の操業状況や復旧見直しを広報する準備がある			
5 BCへの取組姿勢	■従業員教育	25	防災の基礎知識や災害時の対応手順を理解させるための従業員教育を年1回以上実施している			
	■事業継続訓練	26	重要業務を再開・継続させるための訓練(BCP訓練)を年に1回以上実施している			
	■BCP策定期間	27	貴社BCPは、何年前に策定したのか		年前	
	■見直し	28	BCP策定後、見直したことがある			
	■経営層の積極的参加	29	BCP発動訓練に、社長などの経営者層が積極的に参加している			
	■BC上の弱点	30	今の自社のBC上の弱点が何か把握している			

■上記以外の課題やセミナーで特に取り上げてほしいテーマなどありましたら自由に記載してください